

第 5 号

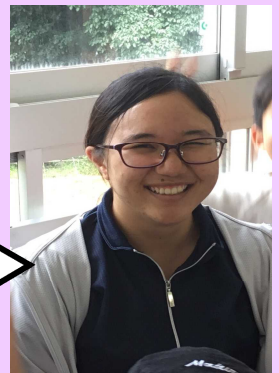
本小の教育「授業研修会」

3年算数

●授業スタンダード期 「授業の型づくり期」

前回は学級活動で「学級目標」を決めた「順子」先生。もはや「ルーキー」の顔は消え自信さえ感じさせる雰囲気でした。今回は、初任研授業。拠点指導教員の古謝先生、校内指導教員の屋宜まゆみ先生、同僚先輩の江里花先生の見守る中、堂々とした授業を実施。子供達とのラポートも良く、指導案も事前に検討に検討を重ねられたものである。順子先生をサポートしてくれている「チーム3学年」、「初任者研修チーム」、そして、愛情一杯の3年2組の子供達に感謝したい思いで授業を参観しました。落ち着いた笑顔満開

■ 3年2組（算数）「花城順子」先生 3校時目 実施



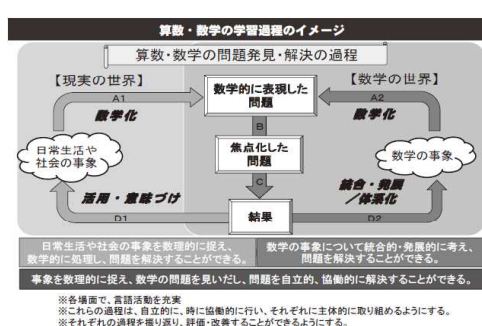
【児童の手(学習規律)】



【教室の色(支持的風土)】



【教師の眼（教師の姿勢）】



【上図】「黙想」「授業始めの挨拶」、学習用具の準備、机上の整理整頓などが良く出来ている。「学習規律は、GOOD!」

【中国】「小集団」話し合い、まとめ方、発表の仕方など、学習の進め方、約束ルール、などができつつある。

【下図】「班会議」子供達は、小集団での
取組をととても好んで、積極的であった。
今後、「対話」と「会話」の違いを意識。

【上図】「小集団」を作ったまま、黒板での一斉指導を聴く姿。工夫が必要。

【中図】「奥の子が起立して発表」クラス全員、その子に向き直って、**聴く姿勢**が出来ていた。素晴らしい！！

【下図】「新学習指導要領・算数」より
算数・数学の学習過程のイメージ図を
載せておきます。教材研究にも必要。

【上図】「教師は落ち着き、子供を良く見取っていた」子供の活動、様子を観察して対応出来ている。

【中図】「机間指導」は、『みとり』の時間。
次の展開に誰と誰を「つなぐ」か重要。

【下図】「黙想」の時間。本時の教師の姿勢で一番改めて欲しい場面です。子供が黙想の時、教師は指導案を確認する時間ではない。**黙想の意味や意義**についてもう一度考えて欲しい。

【感想】 「(全職員が) 指導案は貰っている」との想定で「雑感」を述べたいと思います。ヨロシク！

- 「算数科学習指導案」は、基本的に良く出ています。特に、板書計画も整然と、内容もとても良い。
- 「教材観」「児童観」「指導観」は、3点セット。レディネスを実施し、基づいての「指導観」も良い。
- 「レディネス」の結果を表示して、本時の何処にどの様な手立てと工夫をしたのか示して欲しかった。
- 「板書計画」は素晴らしい。でも、本時の授業では「板書計画」通りには、書かなかった。残念だ。
- 「学級目標」も決まりました。早めに制作して、授業や行事、学校生活の至る所で活用して欲しい。
- 「指導と評価計画」、学年会にて要検討。限定的時数の中では「はしる」所、「宿題」も必要である。



校長より